第2号議案　令和１年度事業計画　（案）

就労継続支援B型施設　笹森の郷

目的

利用者一人一人が快適な社会生活ができるように、個別支援計画を作成し支援する。生産活動にかかる知識及び能力の向上を目指した個別支援計画を作成し、利用者のニーズに沿った計画を盛り込み実施する。

管理事業担当

管理者（施設長）　菊地信男

サービス管理責任者　後藤祥与

目標工賃達成指導員　菊地雄大

生活支援員　菅野　勉

利用定員　20名　現在20名

笹森の郷　（14名）

福島県福島市松川町水原字南沢16番地

利用時間／曜日　　9：00～15：45　休日（日曜日、月曜日）

たまごカフェ（6名）

福島県福島市松川町関谷字大窪47

営業時間　10：00～15：00

利用時間／曜日　8：00～17：00　休日（日曜日、月曜日）希望時間で

笹森の郷作業場

養鶏班　班　　指導員：菊地トシ子・根本久美子

利用者

鶏舎：菊地福次・高橋靖・奈良原孝広・菅野茂伸

ＧＰ：佐藤洋司･丹野悟史・紺野あすか･石川真吾

園芸班（木工班） 指導員　菅野勉・宇田川美奈子

利用者

園芸：志賀祐一　山田順治・菅野広之

木工：山口千春・佐藤幸夫・菅野祐子（GP兼務）

たまごカフェ作業場（６名）

厨房：指導員：安田友美（調理師）アルバイト1名

利用者

　佐藤義三・佐藤和美・菅野建・野村奈津子・山口卓也・安達志歩

目標工賃達成指導員：菊地雄大

販売目標

　笹森の郷

養　鶏：産卵率鶏種変更により産卵率のアップを図る。70％台に上げる

農産物：生産性と商品化率を考え無駄をなくし売り上げに結び付ける。

木　工：販売イベントを増やし売り上げに結び付ける。

肥　料：商品開発と試作生産により販売までもっていく。

たまごカフェ

　お客様の一日5名の導入アップを図る。

　広告によるPR

　HP等でのPR

グループホーム紲喜の家

　何とか一年を掛け入所者8名から10名迄する。

　定期的な施設、相談事業所、病院、市役所等訪問

ライフコンシェルジュ　道しるべ（相談支援事業所）

現在、４名、一年をかけ６０名から１００名にする。

行事計画

火災、防災避難訓練　１１月と３月

笹森の郷・たまごカフェ

イベント参加による、販売活動

　福島県授産事業振興会企画等

１２月　福島銀行販売

レクレーション・イベント

12月　クリスマス・忘年会

2月　豆まき

5月　花見

7月　夏お楽しみ会

8月　研修旅行

２ヶ月ごとの誕生会